

# リレーショナルデータベース入門[第3版]

## 正誤表 (6刷)

February 15, 2022

訂正箇所	誤	正
p.21 ↓6行	オブジェ指向	オブジェクト指向
図 2.9 のリレー ション納品の第 2行目	(G2, C2, 10)	(G1, C2, 10)
図 2.9 のリレー ション納品の第 4行目	(G1, C3, 10)	(G2, C3, 10)
p.126 ↑6行	一般に $m=n$ のとき, 命題が成立して	$m=n$ の場合に命題が成立するとして
p.127 ↑13行	$m=n$	$m=n$
p.143 ↑2行	「上司	「直属の上司
p.146 ↓7行	「上司	「直属の上司
p.150 ↑6行	PROCEDUIRE	PROCEDURE
図 5.4 中	$Z = 0;$	$Z = 0; N = 0;$
	$Z = Z + SAL * SAL;$	$Z = Z + SAL * SAL; N = N + 1;$
	$SDEV = SQRT(Z);$	$RMS = SQRT(Z/N);$
	PUT LIST(SDEV);	PUT LIST(RMS);
p.151 ↓1~2行	標準偏差(standard deviation)	2乗平均平方根(root mean square)
p.151 ↓3行	標準偏差	2乗平均平方根
p.153 ↑1~2行	上記を補う意味で是非参照のこと.	
p.153 文末に追 加		<p>●SQL 自体の計算完備性</p> <p>SQL:1999 で再帰問合せが規格化された (本書では未紹介). その結果, 再帰問合せにより巡回タグシステムをシミュレートすることができ, 理論的には SQL:1999 はそれ自体で計算完備であることが示せる. しかしながら, あくまで理論上のことであって, 実用上は埋込み SQL や SQL/PSM を用いるとよい.</p>

p.353 ↓ 11 行

OLPT

OLTP